



多目的アリーナ施設 吊り荷重管理システム

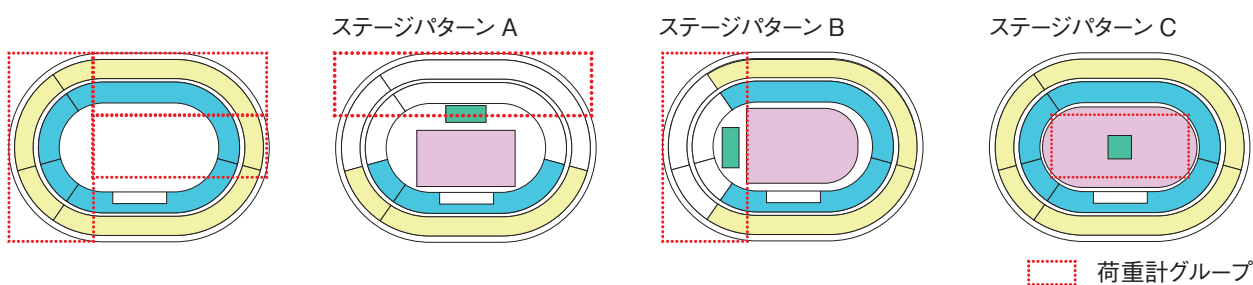
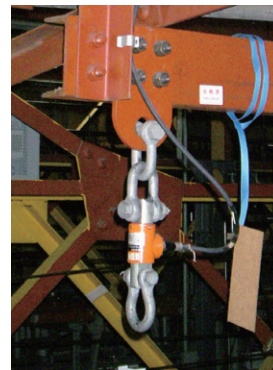
吊り荷重管理の手間を軽減し安全なイベント運営



吊り荷重管理の手間を軽減し安全なイベント運営

■ 概要

吊り荷重管理システムは、多目的アリーナ施設の天井より吊り下げる様々な舞台装置や照明機器の荷重を計測し、これが予め決められた荷重配置（パターン）の範囲内にあることを監視します。吊り下げ荷重がこの範囲を超えたとき、パソコン画面上の表示と接点出力による警報（警告灯、ブザーなど）によりオペレータに伝え、アリーナ施設のステージワーク、A・B・Cおよびそれらの組合せパターン毎の管理値でイベント時の施設使用料金の積算、施設維持管理をサポートします。



■ アリーナ施設吊り荷重管理システムの導入メリット

例えば…

- 重量と吊り点の配置にミスがあったとしても、迅速な対応が可能です。
- チェックシステムのシミュレーションにて吊り点を再検討し迅速に処置

納入後のサポートも充実

国内自社工場で製作の荷重計、測定器、監視システムを導入（定期点検、保守、システム更新）

新設はもちろん、大規模更新のタイミングで導入可能

収益を叶えます！サポートします。

- 例えば、あるアリーナ施設では吊り荷重管理システムの導入費用が、イベント時の吊りフック使用料金により約3年で償却されました。吊り荷重管理システムは、お客様の収益をサポートします。
- チェックシステムによる積算や監視システムによる実績に基づいた請求金額の積算をサポートします。

■ 吊り荷重管理システム構成

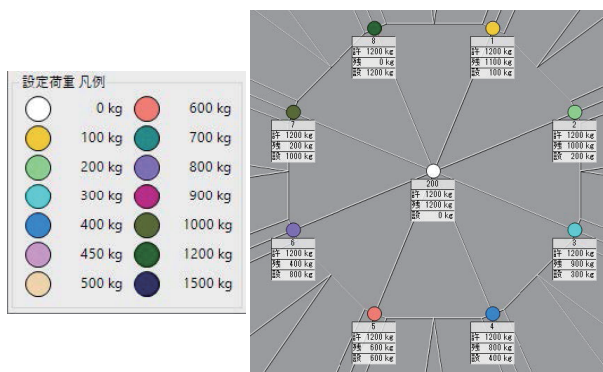
① 吊り荷重チェックシステム

吊りフックの制限荷重による管理が一般的ですが、過負荷の監視や複数個所の天井フックポイントの合成荷重の構造物への影響を解析するなど問題の解決には吊り荷重チェックシステムが有効です。

- 計画段階で吊り荷の重量や吊り点（1点や組合せ）などをシミュレーション
- 安全かつ最適な吊り点の組合せが効率よく選択できるため、管理者様の吊り荷重に係る施設使用料金の積算が高精度かつ容易
- イベント主催者様への見積提示などが迅速

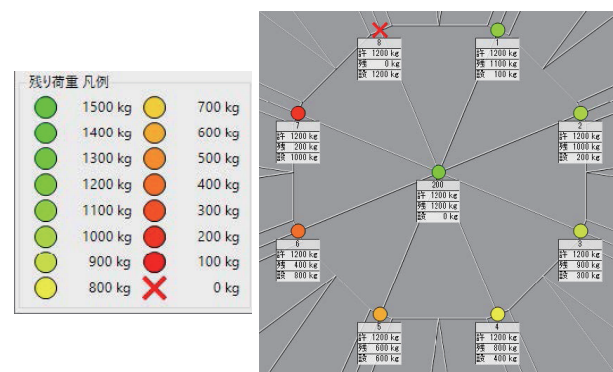
設定荷重

設定されている荷重を色で表現します。



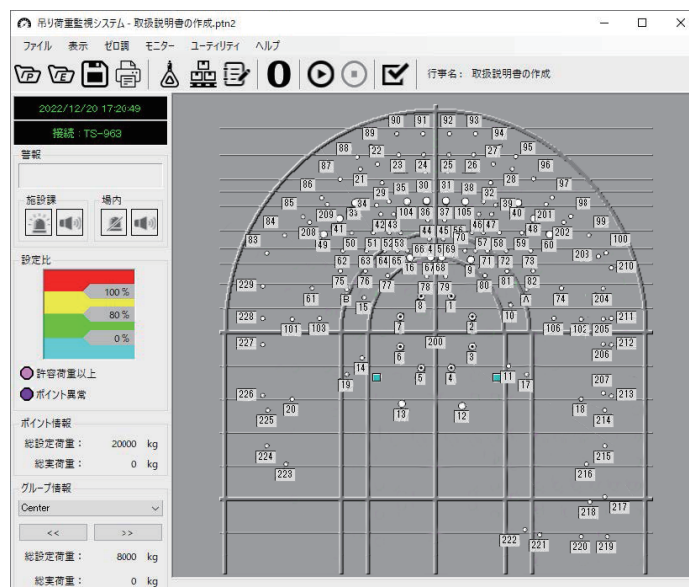
残り荷重

後どれ程の荷重が吊れるかを色で表現します。



② 吊り荷重監視システム

- 実施段階で各吊り点に設置した荷重計の値をアプリケーション上で集中管理
- 予め吊り荷重チェックシステムで設定した吊り点の組合せパターンに対し、計画通り実施されているかをリアルタイムに監視
- 管理値を超えた場合に警報を作動
- 遠隔で吊り荷重をタブレット端末でモニタするクライアントシステムにも対応



■ 吊り荷重管理システムの主な納入実績

納入先	納入時期	管理点数	概要
株式会社横浜アリーナ	1988年11月	291点	2014年2月にシステムの大規模更新を実施 2022年5月に荷重計他更新を実施
公益財団法人日本武道館	2002年2月	138点	2020年5月にシステムの大規模更新を実施
株式会社大阪城ホール	2013年1月	240点	2026年にシステムの大規模更新を予定
ぴあ株式会社（ぴあアリーナMM）	2020年3月	132点	モニタスピードの高速化、一部ワイヤレス化
（一般）福岡コンベンションセンター （マリンメッセ福岡B館）	2021年4月	100点	吊り荷重管理システムの導入
佐賀県（SAGAアリーナ）	2023年4月	102点	吊り荷重管理システムの導入
船橋アリーナ （LaLa arena TOKYO-BAY）	2024年2月	128点	吊り荷重管理システムの導入
愛知国際アリーナ	2025年5月	204点	工事中

定期的な保守点検業務および荷重計校正業務も実施しております。



株式会社東京測器研究所

▲ 安全に関するご注意

●安全にお使いいただくため、ご使用前には、「取扱説明書」をよくお読みの上、記載内容に従ってご使用ください。



ISO 9001:2015 認証取得
認証取得範囲 ISO9001
ひずみゲージ、ひずみ測定
装置、変換器の設計と製造

本 社
140-8560 東京都品川区南大井 6-8-2
TEL.03-3763-5611 FAX.03-3763-6128



www.tml.jp

お問合せ、ご用命は